



# 歯 車

笑顔いっぱいのまちをめざして

《討議資料》

平成24年1月号

鈴木としお後援会 No 7

〒018-0436

事務所：にかほ市樋目野字樋口21

TEL/fax : 37-2307

Eメール toshio@ninus.ocn.ne.jp

## ご 挨拶

今年もまた雪の中での新年となりました。皆様には、益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。

さて昨年は、大雪に始まり、地震・大雨など自然災害に見舞われた一年でありました。今年も、穏やかな、そして皆様には希望の叶う年であらんことを祈念致しております。

早いもので、皆様方から議会に送って頂き間もなく2年目を終わろうとしております。昨年は、毎回の定例会で一般質問をさせて頂きました。従って、本来ならば、その都度皆様方にご報告をさせて頂くべきところでしたが、その目標を果たせませんでした。そのこともあり「HPの開設」致したところでもあります。まだまだ行き届かない面が多々ありますので、逐次改善して参りたいと存じております。どうぞ、皆様からも提案や意見を承れば幸甚です。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(失礼ながら、ポストインさせていただきます)



URL <http://suzuki-toshio.jp>

## 一般質問は一括方式か、一問一答か選択方式に

12月定例会から、一般質問の形式が、従前通りの一括方式か一問一答方式を選択して行うことになりました。一問一答方式が分かりやすいという声もあります。

どうぞ、変わった議場に是非足を運んで傍聴して下さい。

## 12月の主な議案

報告：にかほ市観光開発株式会社の経営状況

議案：にかほ市行政財産使用料徴収条例の一部改正について

一般会計等補正予算

詳細について知りたい方は連絡下さい。

## 12月定例会 私の一般質問から

### 震災瓦礫受入れなどを問う

#### 一、震災の瓦礫の受入れについて

問 県知事は岩手県の震災の瓦礫十三万トンの受入れを表明した。当市にこの要請があった場合の市長の見解はいかがか。また、仮に受入れをする場合の条件はどうか。

答 同じ東北人として受入れをしたいが、当市の焼却施設は老朽化しており、また、前処理のための破碎設備等もなく課題が多い。そうした課題が解決できれば、市民に説明し、理解をえなければならぬ。

問 受入れには慎重を要するものの、職員を現地に派遣し状況把握する考えはないか。

答 受入れをする・しないは別として、派遣して状況の確認はしたい。

#### 二、ドクターヘリ配備に伴う救急搬送体制について

問 一月から運行の始まる「ドクターヘリ」は救命率の向上など期待が大きい。これによつての当市での救急患者の搬送基準はどのようになるのか。また、これによる病院までの搬送時間はどのくらいか。ランデブーポイントの整備状況、安全対策は。

答 搬送手順は地元の病院からの要請と救急現場からの要請がある。現場からの要請は、救急救命士の判断での要請となる。病院までの搬送時間は、例えば由利組合病院までは七分である。

答 ランデブーポイントの安全対策には、人が周辺にいるか、着陸に支障がないか十分な対策を講じていく。

にかほ市にランデブーポイント（ヘリの着陸場所）

- ・ 消防本部前
- ・ 小砂川分校跡地
- ・ 象潟中学校跡地
- ・ 鉾立駐車場
- ・ 仁賀保グリーンフィールド
- ・ 釜ヶ台水芭蕉公園



### 三、緊急雇用臨時対策事業の検証と今後の対策

問 失業された方の本事業を経てからの雇用の動向はいかがか。お分かりでしたら当地域の失業率はどの位か。今後、雇用維持が懸念される中本事業が終わる。今後の対策を伺う。

答 平成二十年度の末から平成二十二年度まで雇用された質御者数は三百二人、このうち就職が決まり途中退職した方が四十名期間満了後に決まった方が二十名、事業の委託先で引き続き雇用された方が十二名。当事業を踏み台にして、再雇用を果たした方は全部で八十名だ。再就職を為し得ていない二百名のうち百五十七名は本年度の事業で雇用される。失業率は、本荘館内一本化されており、把握できない現況であるが、離職者数は毎月三百人前後で推移しており、前年対比では下回っている。地域的なニーズの高い雇用創出事業の十三事業は来年度も実施される見通しである。ふるさと雇用はまだお答えできる段階にない

### 四、にかほ市地域振興交付金制度の創設について

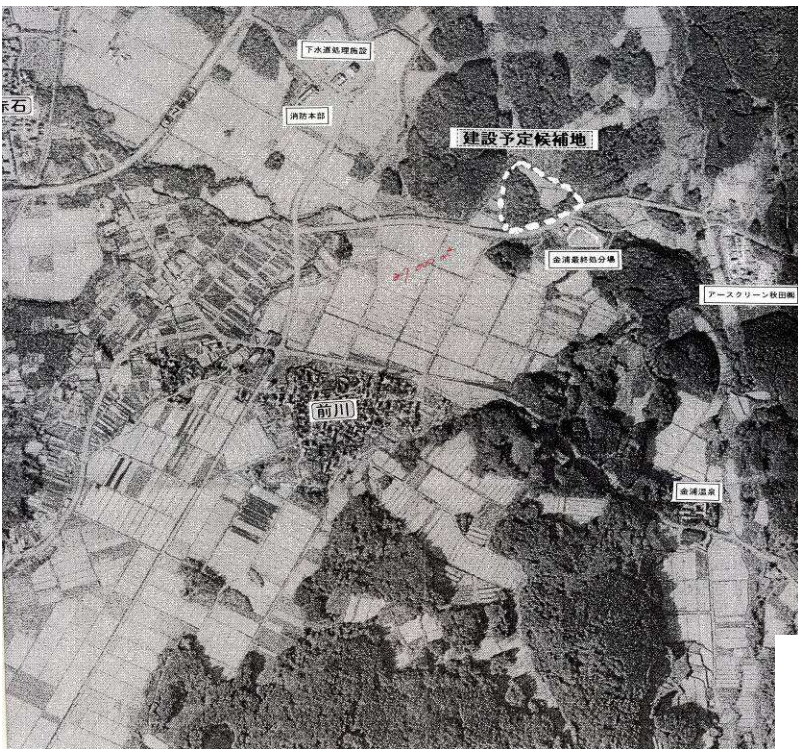
問 地域の活性化や連帯の強化をねらって、地域振興交付金制度が検討されているようだ。この事業の立案の経緯、概要を伺う。

答 昨今の厳しい地域環境や経済雇用情勢の中、また、先の震災を通して減災には「地域力」を教訓として感じた。平成十七年から合併特例債を活用し六年間で十八億円を地域振興基金として積立ってきた。この基金を崩しながら、市民の連帯の強化、地域振興にいかしたい。概要は、地域住民の創意と工夫による課題解決やコミニティの増進など考えているが、具体的には小学校単位に釜ヶ台を含めて八区の形で考えている。今、自治会長連絡協議会で具体的なことを検討している。

問 地区協議会には職員からも出てもらうなどアドバイスを期待したい。特産品の開発、伝統の保存や継承も対象にすべき。

答 職員の補助的な形は考えたい。ソフト面も考えたい。

## ごみ処理施設の建設予定地は□□□



当局から示された第1案は消防本部付近（グラウンド）であったが、この用地は他に利用すべきや近隣集落からも少し離してほしいなどの意見が出て、先般第2案として、金浦の雪車町付近（金浦の最終処分場付近）が候補地として示されている。そして、今年は環境アセスを実施、その予算が今後示されることになる。

この件では、9月定例会一般質問で、6月に続いて取り上げさせてもらった。以下は質疑のやりとりです。

### 9月定例会 私の一般質問から

#### 建設判断は行政責任者としての判断

質、当市の発展計画では、このごみ処理施設は由利本荘市と協議しながら推進するとある。市民の代表が協議をし市民に説明している。単独でと結論を出したのはいささか早まったのではないか。

答、これまで協議は進めてきたが結果は御承知の通りだ。この事の経緯・経過は広報で市民に知らせている。

質、協議の中で建設年度の折合いが一年の差で合意に至らなかったのは残念であった。この件では由利本荘市から断られたのか、当市で断つたと解釈すべきか、伺います。

答、協議の段階でいろいろあったが、出来るだけ市民の負担、市の負担を少なくしよう、合併特例債を使うと話を進めてきた。しかし、これまで私たちははしごを外されてきましたので、私の方から単独でやりますと話をした。

質、市民皆で作った計画書である。もう少し、市民にこういうふうに変更してゆくことを知らしめる必要があったのではないか。

答、状況によっては行政の責任者としての判断しなければならぬ面もある。市民から負託を受けた市長ですから、私の判断でやることもあっていいと思う。

質、計画書はもつと丹念にやるべきでなかったか。

答、意見のすれ違いだ。毎年一億円もかけて補修している現状から、私の判断で方向性を選択するのは当たり前である。